

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公告

◎ 実用新案公報 (Y 2)

平4-32577

⑫ Int. Cl.<sup>8</sup>

G 01 D 9/32  
B 41 J 35/16  
G 01 D 15/18

識別記号

C 6843-2F  
Z 7318-2C  
6843-2F

序内整理番号

⑬ 公告 平成4年(1992)8月5日

(全7頁)

⑭ 考案の名称 記録装置

⑮ 実 願 昭61-28751

⑯ 公 開 昭62-141718

⑰ 出 願 昭61(1986)2月28日

⑱ 昭62(1987)9月7日

⑲ 考 案 者 滝 瀬 稔

東京都武蔵野市中町2丁目9番32号 横河北辰電機株式会社内

⑳ 出 願 人 横河電機株式会社

東京都武蔵野市中町2丁目9番32号

㉑ 代 理 人 弁理士 小沢 信助

審 査 官 中 野 修 身

㉒ 参 考 文 献 特開 昭61-146717 (J P, A)

1

2

① 実用新案登録請求の範囲

直方体状に形成されインクリボンを収納する収納部と、この収納部の長手方向の両側面にインクリボンを記録紙の有効記録幅に対向した状態で案内するように同一方向に一体形成された案内部によりほぼコ字形に形成されたインクリボンカセットと、

インクリボンカセットのインクリボンの収納部の上下面および両側面を着脱可能に扶持するように上下面および両側面が形成されたカセットホルダと、

打点動作を行うワイヤハンマを有し、記録紙の幅方向に沿ってインクリボンを介して記録紙と対向するように移動可能に配置されたカセットホルダとは独立したキャリッジとを有し、

前記インクリボンカセットおよびカセットホルダの一方の側面には相互に嵌め合う位置決め用の係合機構が形成され、他方の側面には相互に嵌め合う保持用の係合機構を設けたことを特徴とする記録装置。

考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、ワイヤハンマを用いて打点記録を行う記録装置に関するものであり、詳しくは、インクリボンカセットの着脱機構の改良に関するものである。

(従来の技術)

このような記録装置の一種に、本考案出願人が実願昭60-39248号として出願した「カラー記録装置」がある。

第5図は、このようなカラー記録装置の概略構成説明図である。第5図において、10は記録紙20が巻き付けられたプラテンであり、例えばステップモータおよびギアにより所定の速度で回転駆動される。30はキャリッジであり、例えばステップモータにより記録紙20の送り方向と直交する方向に往復移動させられる。第6図は、このようなキャリッジ30の具体例の要部を示す構成説明図である。なお、キャリッジ30は本体とカバーとで形成されているが、第6図ではこれらを重ね合わせて一体化したものとして2点鎖線で示している。

第6図において、本体の一端近傍には軸受31が設けられてこの軸受31にはコイルばね32を介してワイヤハンマ33が垂直方向に変位可能に挿入され、他端近傍にはヨーク34が配置されるとともにヨーク34の上にはコイル35およびアーマチュア36が積層配置されて磁気回路が形成されている。37はカバーの内面に取り付けられアーマチュア36の押えばねとして作用する板ばねであり、自由端がアーマチュア36を介してヨーク34の端面にほぼ対向するようにして取り付け